

- 一、暴壓諸法令の改廢！
- 一、失業者の生活保証！
- 一、自主的船員保険法の制定！
- 一、港灣労働者保護法の制定！
- 一、反動諸勢力の粉碎！
- 一、九軌の電灯、電力料を値下げせよ！
- 一、労働階級の實費診療所を設置せよ！

濱田、松岡正副議長座談會

イ、濱田議長の座談會

永く西下を豫報されてゐた日本労働組合會議々長濱田國太郎氏が日本海員組合長崎支部の結成を機して愈々西下されたので九州地方協議會は「産業と労働の統制」に關し齋藤前首相へ要請した建議の内容を中心に、昨冬十二月十五日東京會館で日本労働組合會議主催の勞資懇談會に於ける「産業労働統制の建議」に對する政府要路の大官、學者、専門家、政黨の領袖、代表的資本家達の意見並に最近の組合會議の諸情勢、労働運動の全国的動向等を聴くために、加盟団体と相圖つて、七月五日午後六時より八幡市大谷會館に於て座談會を開催した。

當夕相會する九州地方協議會加盟団体代表者八十餘、さゝやかな夕食を共にして乍ら濱田議長より二時間に亘る諸報告を受け、懇談裡に同十時散會した。

ロ、松岡副議長歡迎座談會

製網小倉労働會館落成式へ出席のため西下した松岡日本労働組合會議副議長の歡迎を兼ね、組合會議最近の情勢に就き單なる事務的報告では徹底しかねる機微な諸問題に就き細密なる報告を乞ふため、九州地方協議會は九月三十日正午より小倉市京町ライオン食堂に於て歡迎座談會を開催し、加盟各団体より夫々代表者四十餘名出席、極めて和氣霽々裡に懇談三時間、中食を共にし、一同歡を盡して同四時散會したが、かゝる懇話的座談會を通じ、加盟団体の融和、親睦を益々緊密化す上に於て甚

だ有意義であつた。

▲勞資懇談會

健實なる労働組合主義を資本家側にも理解、徹底させる方策として九州地方協議會が積極的に参加し、支持し來つた福岡に於ける勞資懇談會も、昨年四月三日、前福岡會務理事吉田茂氏、前福岡縣知事小栗一雄氏の熱誠な斡旋、努力に依つて全國に魁ける福岡縣教育會館に開催されて以來、既に回を重ねること四回、回を追ふ毎に會議の規模は擴大され、その意義は益々深まつて行き、昨年第一回懇談會開催當初の全国的資本家側の危惧と杞憂は全く消失し却つて福岡縣下の一流事業主、資本家側の参加希望者續出して會場へ收容困難を訴ふるに至つた。

この福岡の勞資懇談會の賞讃的成功が契機となつて、關西、關東にこの種の懇談會が引き續き開催され、勞資懇談會は全国的に普及し、遂に昨年末は日本労働組合會議の主催で東京會館に於て陸軍次官、海軍次官、商工次官を始め政府要路の關係大官、政友會、民政黨、國民同盟の幹事長並に社會大衆黨書記長、各大學教授、學者専門家、一流資本家の代表、労働組合代表者百數十名の朝野の權威者が参加した勞資懇談會が開催され、本年六月には日本工業俱樂部主事膳桂之助氏、日本商工會議所書記長渡邊鐵造氏の招待で同様の勞資懇談會が東京丸の内會館で開催され、全国的にこの勞資懇談會を通じて日本國家産業を健全に再建、維持、發展させ、困難、複雑、多岐な労働關係を融和、解決する規準となる方針が期待されるに至り、内務省社會局に於ても積極的にこの種の懇談會を指導、統轄し、國策として日本の國家産業と労働を統制、規格する方針となる規準を搜き引すことを期待して、そのための經費を明年度豫算に計上して發表してゐる。

かくの如きは健實なる労働組合主義が社會的信頼を増大して國家的見地に於ける信任を獲得した實証で、健實なる労働組合の方針が今や國策として採用されようとするに至つたことは日本の全労働階級にとつて限りなき慶びとするところである。

▲第一漁業並に奥田トロール紛議と共同漁業トロールの爭議應援

下關港を本據とする第一漁業並に奥田トロールは經營困難の負債のため一昨年末より約一ヶ年以上船員の給料、食費を不拂にして乗組員を窮乏のどん底に苦呻させてゐたが日本海員組合門司支部は海員協會若松出張所と共同し、九州地方協議會土門